

スーパーGTやスーパー耐久、ラリーにダートラ、ドリフトなど、多彩なモータースポーツに向けてスポーツホイールを供給しているワーク。そこで培った技術やノウハウをストリート用ホイールにフィードバックすることで、性能を鍛え上げているのが「ワークエモーション」だ。もともと鍛造1ピースでスタートしたシリーズだが、履き手を第一とするため、2代目モデル以降は手の届きやすい鍛造1

ピースでの性能を追求してきた。その最新モデルとなるのが、ここで紹介する「ワークエモーションCR至極（しごく）」である。初代ワークエモーションからの伝統を受け継ぐ2x5スポーク。そして、その名称からも伝わってくる通り、シリーズ最大のヒットモデルとなった2011年発売の「CR極（きわみ）」の進化版となる。

15年の月日を経て、製造面での最新技術がフル投入されているのは言うまでもない。フローフォーミング製法「WFF」はもちろんだ、センターサイドマシンングやアンダーカットといった加工技術に加えて、スポークサイドにはレースホイールと同じマシンング加工を施すなど、徹底的な軽量化に挑んでいるのだ。そして、最新の解析技術による高剛性化もポイントだ。スポークはシャープさを増し、迫力のコンケイブがデザインされているが、ビジュアル面の進化以上にスポーツホイールとしての真価が追求されている。

ワークエモーションとしての超王道、2x5スポークの最先端は17、18、19の3サイズでの登場だ。極みを越えた「至極」の雄姿を目撃せよ。

## ワークエモーションの最先端をチェックせよ!!



センターハートはコンパクトかつ深くに設計。スポークの長さとともに、コンケイブを強調する。尚、取材車両のJZA80が装着する10.5Jx19は、4種のテーパーサイズの中で最深のウルトラディープだ。

運転席側に装備するカラーは、CR Kiwamiで人気を博したアッシュドチタンに代わって新採用された、カッパー系ブロンズカラーの「アームドチタン」。助手席側に装備する「グローガンメタ」と、他に「アイスホワイト」の3色を設定する。



スポークエンドとリムの接合部分をエッジの効いた形状に刷新。コンケイブをよりダイナミックに見せる効果を生み出す。そして、スポークサイドに施されたマシンング加工による大胆な軽量化も、スポークのシャープさを際立たせている。



## WORK EMOTION CR Shigoku—至極—

SIZE/PRICE

17inch 7.0J~9.0J / ¥52,800~¥60,500  
18inch 7.5J~10.5J / ¥57,200~¥67,100  
19inch 8.0J~10.5J / ¥62,700~¥71,500  
COLOR: アイスホワイト、アームドチタン、グローガンメタ

